

会 議 録

会議の名称	第5回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開催日時	令和4年2月14日(月) (午前・午後) 9時30分 開会 (午前・午後) 正午 閉会
開催場所	男女共生センターローズ WAM 501・502 号室
議長	山本 博史 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授)
出席者	【評価委員】 山本博史氏 (学識経験者)、百瀬真由美氏 (NPO関係者)、高田和子氏 (地域活動関係者)、板倉幸司氏 (公募市民)、足立真美氏 (公募市民) (5 人) 【事務局】 山本市民協働推進課市民活動係長、松井市民協働推進課職員 (2 人) 【関連課・担当課】 子育て支援課、健康づくり課、北部整備推進課、文化振興課、スポーツ振興課 (5 課)
開催形態	公開 (傍聴者0人)
議題(案件)	(1) 概要説明及び会議の公開・非公開の決定 (2) 各団体による事業報告及び質疑応答
配布資料	・ 第5回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和3年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 事業報告関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>開会及びあいさつ、本日の会議の概要説明 公開・非公開の決定について（すべて公開）</p> <p style="text-align: center;">----- 事業報告開始 -----</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 子育て相談・楽しく遊ぼう！ 一般社団法人子育てサポート・えん</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】 ・市内で行われている「つどいの広場」と比べて来られる方の層の違いはあるか？ →近所の目が気になる方、もしくは買い物ついでの方が多い。事前申込が不要で敷居が低い点が好評。 ・知育玩具の購入は効果があったか？ →目を引く点が知育玩具の魅力。子どもが興味を示して遊びに来るので、ついでに親が相談できる機会にもなり、一定効果はあったと思う。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】 ひとり親家庭の学習サポート サポートユニオン withYOU</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】 ・他団体と連携している点が良い。食料品等に関して支援の課題は。 →食料の管理や配布に手間がかかっている。 ・DV家庭等とはどのようにつながっているのか。 →スタッフがシェルター団体と知り合いで、本人に伝えたところ希望があったため。 ・公的機関とのつながりがあるとさらに良い取り組みができると思われるが。 →ひとり親家庭のコミュニティ等が把握できればそちらに向けてもアプローチしたい。 ・報償費について →学生には大学に通うための授業料等の負担があることからバイト代を渡し、大人のボランティアには交通費のみ支給。 ・食料費について、近所のパン屋さん等に声をかけて協力を募ってもよいのでは。 →検討する。</p>

団体	<p>【自由テーマ型】</p> <p>映画「弁当の日」上映&講演会 シェアリンク茨木</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の展開について <p>→子どもが将来自炊できるようになるための「食育」には力を入れたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝、集客方法とその効果について <p>→紙媒体の効果が薄れてきている。Facebook での発信を中心にした。同分野に興味がある人に届いたと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の様子の動画配信は良いと思うが、まだ実施していない。課題はあるか。 <p>→要点が伝わるよう意識しつつコンパクトに編集を行う必要がある点が難しいため、少し時間がかかっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で過ごす時間が多いことから、動画配信等により家族で勉強してもらうには良い機会だと思う。続けていってほしい。
団体	<p>【自由テーマ型】</p> <p>収穫祭&交流事業 上音羽農業体験交流会</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題はあったか。 <p>→イベント日に合わせて作物を作ることと、地域の PR への繋げ方。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初植えた 5000 苗からトウモロコシはいくつできるのか。余った分は？ <p>→8,000~10,000 本。2 日間の収穫体験を行うには十分な数量だったが、予想以上に育ちが早く、水分が抜けてしまい、持ち帰って食べてもらえる質ではないと判断したことから、収穫体験を中止した 1 日程分と、余り（販売を予定していた）は廃棄した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続性を考えると、観光農園のような形だと来場者がお客様意識になる。そうではなく農業に関わっていると思ってもらえるような、農村地域と都市の交流につながるような形でできるとよい。 <p>→オーナー制のようなイメージで、少しでも従事してもらうことが大事。農業は「大変」というだけでなく、「大変だけど面白い」と思ってもらえるようにしていきたい。</p>
団体	<p>【自由テーマ型】</p> <p>隠れキリシタンの里巡り</p>

<p>関連課</p>	<p>千提寺まちづくり委員会</p> <p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の参加者は26名とのことだが、何名ほどの参加を見込んでいたのか。 <p>→30名ほどを見込んでいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に事業を進めるために考えていることはあるか。 <p>→メンバーが高齢化しており、どのように若者を取り込んでいくかは課題。里山を守る会など、他団体との連携の中で何か生まれるかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画段階から若い人をスタッフに入れると、若者目線の案が出てくるのでは。 ・まずは草刈りや側溝の清掃などできる範囲で、準備から大学生などに関わってもらうのもよいのでは。 <p>→検討する。</p>
<p>団体</p>	<p>【自由テーマ型】</p> <p>茨木市内在住外国人へのオンライン日本語教育事業</p> <p>AHR共同組合</p>
<p>関連課</p>	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語コンテンツ配信について、学習者の出身国は限定しているのか。 <p>→配信はすべて日本語で行っている。日本語を学習したい人なら誰でも対象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSのフォロワーについて <p>→Facebook ページ15,000人、インスタ2,000人、YouTube3,000人。アジア圏が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育カリキュラムに限らず、雑談ができる機会（学生ボランティアとのおしゃべりコーナーなど）があると、学生の活動の機会にもなり良いのでは。 <p>→今後、よりフォロワーを限定した形で対話等ができるものも行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（日本人サイドが）日本語教育を行う人に限らず、普通の大学生、普通の市民が外国の方とコミュニケーションをとれるような仕組みがあるとお互いにプラスになりそう。 ・当初の申請額よりも実際の交付額が減額となったのはなぜか。 <p>→当初計画していた「日本語オンライン教育事業」について、先行して受講者を募集した関係者（会員等）のみで募集枠が埋まってしまったことから、（広く市民を対象としたものではなかったため）こちらの事業費が補助対象外と判断したため。</p>
<p>団体</p>	<p>【自由テーマ型事業】</p> <p>ラジオ体操</p> <p>茨木ラジオ体操会連盟</p>

<p>関連課</p>	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP の進捗状況について →掲載内容は作成済み。現在、レンタルサーバーの検討中。 ・ HP の作成ソフトは？ →ホームページビルダーで作成。 ・ ラジオ等の購入物品について、耐用年数等に応じた計画的な購入を。また、どういった物品を購入したのかを明確にしてほしい。 →承知した。団体の広報誌等に購入物品は掲載していく。
<p>団体</p>	<p>【スポーツ推進事業】</p> <p>健康寿命推進の為にスポーツを通じた健康な心身づくりをサポート 特定非営利活動法人ボランティアネットワーク</p>
<p>担当課</p>	<p>【担当課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加費収入で事業に係る支出分は賄えそうか。 →コロナ禍で参加可能な人数に限られる上に報償費がかさむ。講師には市民活動ということでご理解いただいている。講師料と参加費のバランスがギリギリになっている。 ・ 広報について →LINE アカウントの作成は効果があった。また、広報いばらきに QR コードを載せてもらってから、認知度が上がったと感じる。
<p>山本委員長</p>	<p>他に意見はないか。以上で報告を終了する。 各団体の報告についてだが、収支状況等をもう少し詳しく書くようにしてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>承知した。各テーマ所管課とも共有する。</p>
<p>山本委員長</p>	<p>事務局から連絡事項はないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回は、2月15日、午前9時30分から、茨木市役所南館8階中会議室で開催予定。</p>
<p>山本委員</p>	<p>以上で、第5回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p>